

## 国別研修「政策立案」に保健省副大臣ほか参加

プロジェクトでは8月4日から5日間の本邦研修を実施し、グエン・チュン・ソン保健省副大臣をはじめとする保健省局長級職員、看護協会長、大学学長等、ベトナムの保健医療人材政策策定に関与している11名が参加しました。同研修では、高齢化等、同国の健康課題の変化を見据えて、根拠に基づき保健医療人材政策の方向性を検討することを目的に、厚労省、保健医療科学院、日本看護協会、聖路加国際大学・病院、東京大学などを訪問。日本とベトナムの健康課題の共通点と相違点を踏まえた保健人材育成の在り方に関し、受け入れ機関の多くで組織長レベルとの対話を実現しました。

最終日には、ベトナムの保健医療人材政策における卒後臨床研修の位置づけを明確化するための討議を展開、現在改定プロセスにある関連法案の作成に寄与するものと考えます。



JICA東京国際センターでの修了証授与式



JICA本部表敬。鈴木規子理事から活動協力への感謝と今後の活動方針に関する協議



聖路加国際大学教育センターの視察。日本の臨床研修の位置づけを理解



聖路加国際大学・病院の福井次矢院長から医療の質の向上のための取組の経緯を共有



男性看護師初の国会議員である石田昌宏議員と、政治と看護の質の向上について意見交換

### 改訂版教材が保健省のWebサイトからダウンロードできるようになりました

臨床研修制度の全国展開を見据え、プロジェクトが開発した新人看護師の卒後臨床研修のための教材（越語版・英語版）を保健省Webサイトからダウンロードできるようになりました。教材は「カリキュラム」「標準テキスト」「指導者研修ガイド」「研修マネジメントガイド」の4種類（各教材の概要はニュースレターVol27をご参照下さい）。ベトナム国内の看護関係者だけでなく、ベトナムの看護に関心をお持ちの多くの方々にご覧いただくことを期待しています。

<http://asttmoh.vn/chia-se/tai-lieu-dao-tao-thuc-hanh-lam-sang-cho-dieu-duong-moi/>



### 自律的な研修実施体制の構築に向けて



プリセプター養成をテーマにしたワールドカフェ

2019年第1四半期に実施したパイロット省でのモニタリングを通じて「コンピテンシーに基づく評価」がパイロット省内の病院共通の課題の一つとして挙げられました。今後、研修を全国の病院で自立発展的に実施するためには、新人看護師の評価を担うプリセプターの養成や、その養成のための仕組みの構築が不可欠となります。

そこで、8月23日にベトナムの看護教育の専門家、実践家を全国から招聘、意見交換のための会合を開催しました。会合では、コンピテンシーに基づく評価のための教材作成、ICTを用いたアプローチなどの意見が出されました。これらの意見に基づき、今後プロジェクトでは、研修体制の強化に向けた活動を展開していきます。